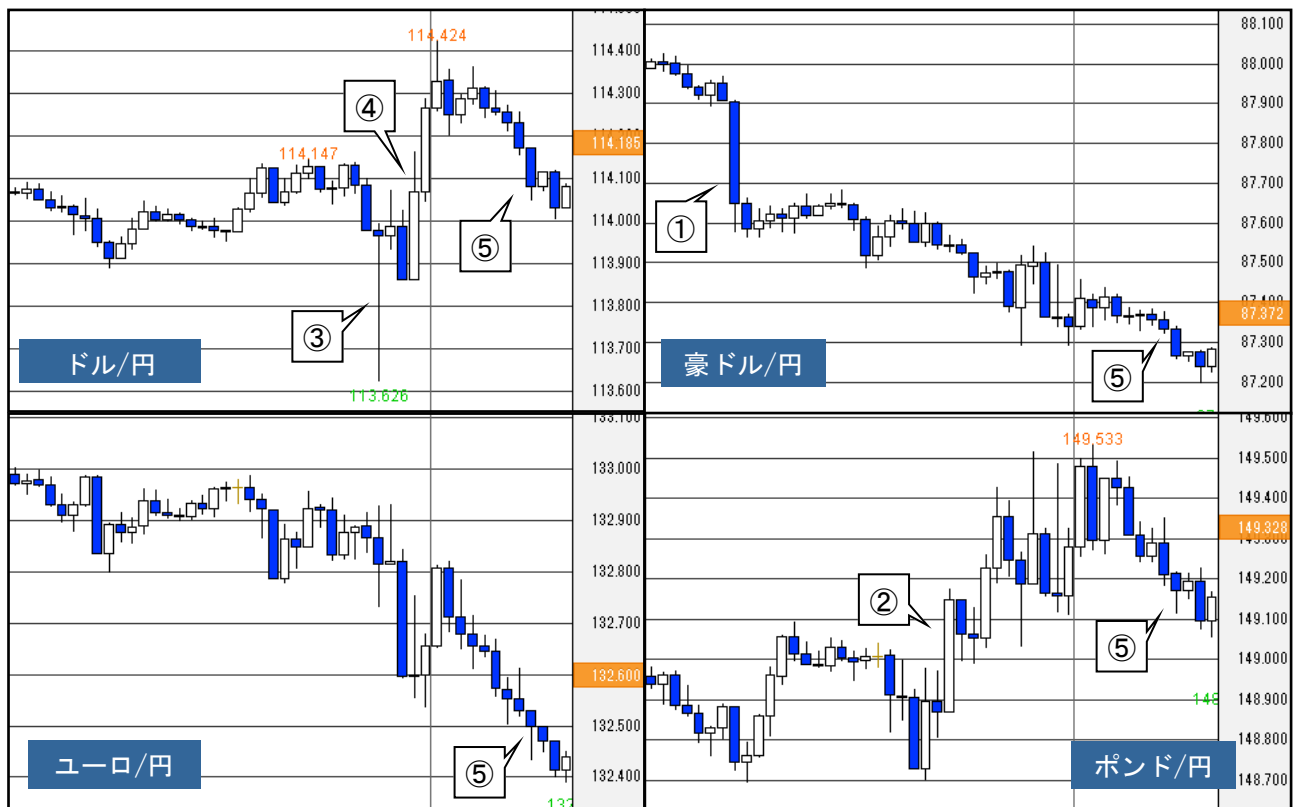


11月6日(月曜日)
ドル/円・豪ドル/円
ユーロ/円・ポンド/円

ドル/円、寄引同値線の意味は？

3日(金)の為替相場



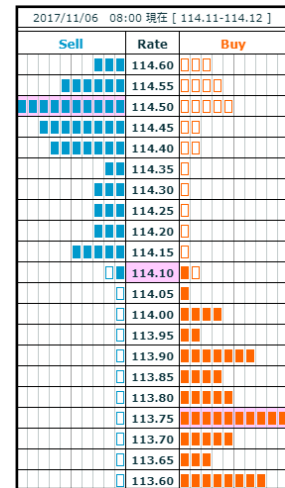
期間：3日(金)午前6時10分～4日(土)午前5時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所：外為どっとコム

- ① 豪9月小売売上が前月比±0.0%と市場予想(+0.4%)を下回ると豪ドル売りが強まった。
- ② 英10月サービス業PMIは前月の53.6から低下するとの予想(53.3)に反して55.6へ上昇した。これを受けてポンドが買われる場面があった。
- ③ 米10月雇用統計は、非農業部門雇用者数が26.1万人増と市場予想(31.3万人増)に届かなかった一方、失業率は4.1%と予想(4.2%)より良好だった。また、平均時給は前月比±0.0%、前年比2.4%と市場予想(+0.2%、+2.7%)を下回った。これを受けて一時ドル売りに傾いたが、非農業部門雇用者数の8月分と9月分が合計で9.0万人分上方修正された点や、失業率が(労働参加率が62.7%に低下したとはいえ)2000年12月以来の水準に改善した点などが見直されると、買い戻しが入った。
- ④ 米10月ISM非製造業景況指数は60.1と、予想(58.5)に反して前回(59.8)から上昇。米9月製造業受注指数も前月比+1.4%と市場予想(+1.2%)を上回った。これらを受けてドル買いが優勢となり、ドル/円は米長期金利の上昇につれて114.424円まで上値を伸ばした。
- ⑤ 堅調に推移していた米国株が週末を控えたクローズに向けて上げ幅を縮小する中、ドル/円やクロス円には円買い圧力がかった。

3日(金)の株・債券・商品市場

日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
休場	5959.876 △28.169	3371.744 ▼11.565	7560.35 △5.03	13478.86 △37.93
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
23539.19 △22.93	休場	2.572% ▼0.082	1.262% △0.001	0.364% ▼0.009
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
1.6145% △0.0065	2.3325% ▼0.0126	55.64 △1.10	1269.20 ▼8.90	

外為注文情報(ドル/円)



本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	113.600-114.900	131.900-133.300	86.80-87.900	148.400-150.100

【ドル/円】

3日のドル円は方向感が定まらなかった。米10月雇用統計で平均時給の伸びが予想を下回った事から一時113.60円台へと下落したが、米10月ISM非製造業景況指数が予想を上回ると114.40円台へと反発。しかし、5月以降のレンジ上限のこの水準を突破できずに114.00円台に押し戻されて取引を終えた。日足チャート上には寄り引同値を示す十字線が出現しており、売り手と買い手のパワーバランスが拮抗しているように見える。しかし、十字線は相場の転換点を暗示するとの見方もある。これは、拮抗状態は長続きしないのが相場の常識であり、まもなくバランスが崩れる(どちらかにトレンドが出る)シグナルになり得るとの解釈によるものだ。下値支持の113.00円を下抜けるか上値抵抗の114.50円を上抜けるかが目先の焦点となるが、現在の値位置(執筆時114.10円前後)から考えれば114.50円の上抜けの方にやや分がありそうだ。

執筆者: 神田

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示

日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
11/6(月)	10:00		(日) 黒田日銀総裁、挨拶	—	—
	16:00		(独) 9月製造業受注(前月比)	+3.6%	-1.1%
	17:00		(ユーロ圏) プラートECB理事、講演	—	—
	19:00		(ユーロ圏) 9月生産者物価指数(前年比)	+2.5%	+2.7%
	22:00		(ユーロ圏) ハンソン・エストニア中銀総裁、講演	—	—
	23:00		(ユーロ圏) コスタ・ポルトガル中銀総裁、講演	—	—
	26:10		(米) ダドリー・ニューヨーク連銀総裁、講演	—	—
	27:00		(ユーロ圏) メルシュECB理事、講演	—	—

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご承願いたします。